

(書式3)

指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	技術・家庭	教科主任	菅原 考裕
-----	-------	------	-------

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・授業時間が多く取れないため、基礎的な知識・技能の定着がしにくい。・実生活とのかかわりをイメージしにくい。	<ul style="list-style-type: none">・定期的に振り返りテストを行い、知識・技能の定着を図る。・コンピュータ等のICT機器を有効に活用して、授業時間の確保を行う。・作品製作の授業は苦手な生徒や遅れがちな生徒への個別での声掛けを多く行う。・実生活に即したレポートや教材を活用して、定着を図る。	<ul style="list-style-type: none">・放課後等に、時間の確保をして、苦手な生徒も基礎的な技能の定着ができるようにする。

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・授業時間が多く取れないため、基礎的な知識・技能の定着がしにくい。・実生活とのかかわりをイメージしにくい。	<ul style="list-style-type: none">・定期的に振り返りテストを行い、知識・技能の定着を図る。・コンピュータ等のICT機器を有効に活用して、授業時間の確保を行う。・作品製作の授業は苦手な生徒や遅れがちな生徒への個別での声掛けを多く行う。・実生活に即したレポートや教材を活用して、定着を図る。	<ul style="list-style-type: none">・放課後等に、時間の確保をして、苦手な生徒も基礎的な技能の定着ができるようにする。

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・授業時間が多く取れないため、基礎的な知識・技能の定着がしにくい。・実生活とのかかわりをイメージしにくい。	<ul style="list-style-type: none">・作品製作の授業は苦手な生徒や遅れがちな生徒への個別での声掛けを多く行う。・実生活に即したレポートや教材を活用して、定着を図る。	<ul style="list-style-type: none">・放課後等に、時間の確保をして、苦手な生徒も基礎的な技能の定着ができるようにする。